

デリックを小起因物とする死亡災害事例（1999-2021年）

年	月	発生時	死亡災害事例	業種 (小)	事故の 型	労働者 規模
2011	3	12 ～ 13	鉄塔解体工事において、地上高さ60メートルの鉄塔ステージ上で、ガイドリック（吊荷重1.95トン）の据え付け、デリックブームの起伏ワイヤロープをチルホールで緩める作業を行っていたところ、同起伏ワイヤロープがチルホールから抜けたため、ブームが倒れて、作業指示をしていた被災者がブームとステージ手すりとの間に頭部を挟まれたもの。救出にあたったが、現場で死亡が確認されたもの。	30301	5	100 ～ 299
2008	5	9 ～ 10	被災者は、同僚作業員8名と既存のアンクル鉄塔（地上高さ約70m）にパラボラアンテナの取付作業をしていた。アンテナ架台（L型アンクル、474kg）を鉄塔上部に取り付けようとして仮設の鋼製ブーム（鋼製トラス支柱、長さ約4m、80kg）の先端に滑車を取り付けて近隣の樹木に固定したウインチで滑車を經由させワイヤーで当該架台をつり上げていたところ、鋼製ブームが折れて鉄塔上で合図をしていた被災者を直撃した。	30301	6	1～ 9

2021年、2020年の事例は新型コロナ罹患を含む。2011年の事例は東日本大震災による労働災害を含まない。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.html(職場のあんぜんサイト)

[小起因物別の死亡災害事例（1999-2021年）](#)に戻る。

(参考) [労働災害の分類の概要](#)